

話題の『マネキンチャレンジ』をPRに応用！ベルギーNPOによるALS理解促進動画

Country：ベルギー Industry：非営利組織 Company/Brand：ALS Liga Time：2016

いいね! ツイート ブックマーク G+ Pocket Pin it

charity creative digital PR social campaign video

Interview あの話のキャンペーンの裏側に迫る! BEHIND THE BUZZ

Case: The never-ending Mannequin Challenge

今世界で大流行している「マネキンチャレンジ」をご存知ですか？

マネキンのように静止した状態の人々を動画で撮影することで、今年の10月にアメリカの高校生たちがSNSに投稿した動画がきっかけで世界的ブームとなりました。

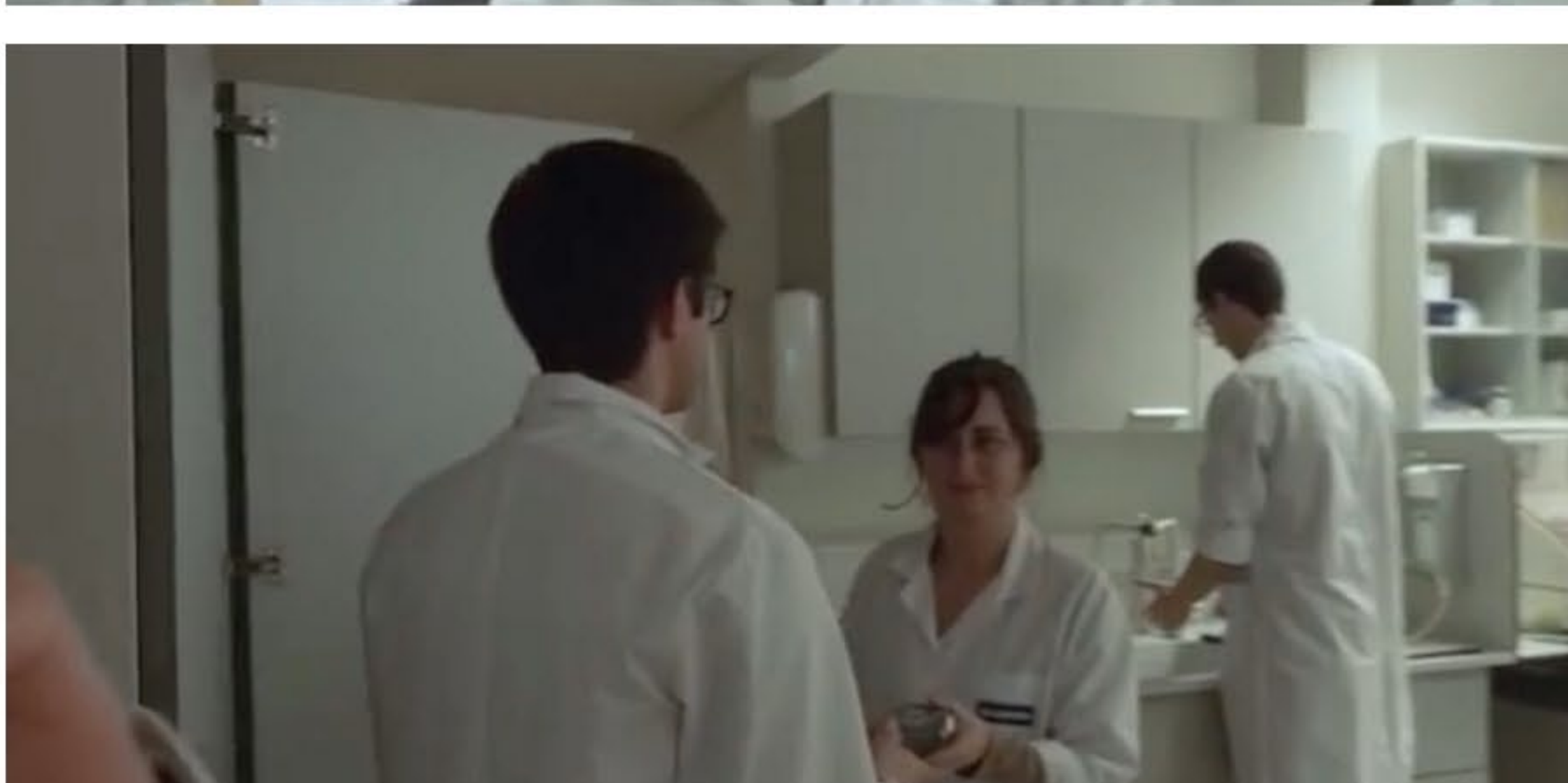
このブームを受け、早速「マネキンチャレンジ」を取り入れたプロモーションもいくつか登場。中でも、ベルギーの非営利団体・ALS Ligaが制作した、ALS（筋萎縮性側索硬化症）の理解促進と研究活動への募金を目的としたWeb動画が注目を集めています。



場所はベルギーの研究所の一室。まるで時間が止まっているかのように、人々は微動だにしません。そんな静まりかえった室内をビデオカメラがゆっくりと捉えていきます。

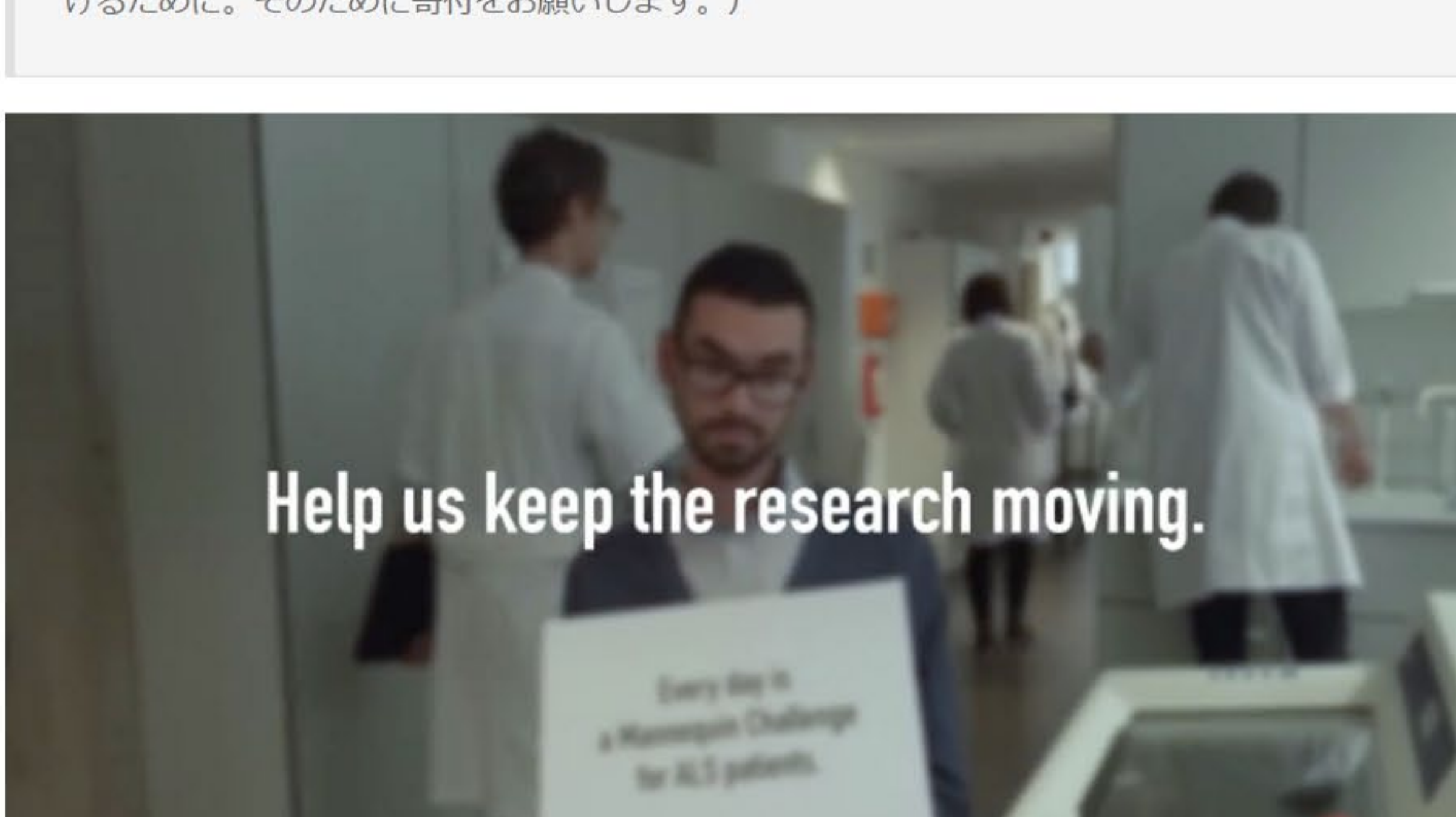


資料を見ながら話していたり、血液が入ったガラス管を手渡しする瞬間などなど。



そして、映像の最後にはこのようなメッセージ。

Keep the research moving, and find a cure for this terrible disease called ALS.
(ALSの実験は、前へと“動かす”続けましょう！ALSという恐ろしい病気を治癒する方法を見つけるために。そのために寄付をお願いします。)



“体が動かない病”であるALSと、“全てが静止してしまう”マネキンチャレンジをリンクさせたからこそ生まれた心に響くコンテンツでした。トレンドに乗っかる機転の良さと、繋がりを見つける着眼点の鋭さが光るケースでした。

(via facebook/ALS Liga)